

平成17年7月21日（木）に、東京都のホテルニューオータニにて蓄熱月間のメインイベントである「蓄熱のつどい」が開催され、中川昭一経済産業大臣をはじめ、官界、学会、産業界、関連団体の指導的立場の方々約1,800名が参加しました。

「蓄熱のつどい」は、「蓄熱」に対する意識を共有し、社会に対して啓発することを目的に行われるもので、3つのカテゴリー（育てる・拡める・活かす）ごとに、ヒートポンプ・蓄熱システムの普及・拡大に貢献した企業、団体、個人に対し、感謝状が贈呈されます。

今回、全国の延べ92の企業、団体、個人が表彰を受け、沖縄地区からは中央設備設計事務所が表彰を受けました。

中央設備設計事務所は「育てる」カテゴリーでの表彰を授与されました。これは蓄熱システムを始め、蓄電池や高効率ヒートポンプ等に関する設計・普及啓発等への先駆的に取組み、蓄熱ソリューションという観点から先進的なシステム・技術の育成とその普及に貢献した方に贈られるものです。

中央設備設計事務所の鏡辺永勇氏へは、これまでの功績への感謝と今後の蓄熱システムの普及への活躍を祈念し、主催者である（財）ヒートポンプ・蓄熱センターの加藤理事長より感謝状と記念品が授与されました。

